

「誰か」ではなく 「自分」がする

第3期 社保ピースセミナーに参加して



大阪民医連からの参加者

が、普段の生活で何ができるのかを考えました。

2泊3日の短い時間でしたが、あの悲惨な戦争を二度と繰り返さないこと、沖縄を抱えている問題は私たちの生活と密接に関わっていることを学びました。

第1回目の学習の時に、「社保を叫ぶる職員であってほしい」との言葉を頂きました。署名などの活動はそれ自体が目的ではなく、実際の社会の変容をもたらすことが最も重要ですが、社保セミナーはそれらを考える一歩目に位置すると思います。参加者からも、「自発的な行動が必要だ」という声がかれました。

今回の学習で感じた意識の変化や沖縄で見た現実をきっかけに、周りの人を巻き込んで社保を叫ぶことができるようになればと思います。
(同仁会本部経理課 石井 慧介)

矛盾が存在する社会情勢に関心を持つこと！民医連組織が地域とともに歩む意味を考えること！行動としてどう体现するのか！は民医連職員として、いつも考えなくてはいけない課題です。

大腸がん検診について

早く見つけて、早く治す

大腸がんは早期に治療すれば90%以上が治癒します。

大腸がんは早期のうちに発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。大腸がんの発見と治療は早ければ早いほど負担は少なくて済みます。しかし、進行して肺などに転

手軽で簡単

大腸がん検診は自宅ですぐにできる便検査です。

トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけの簡単な検査です。異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡等の検査をします。

早期は自覚症状なし

日本では毎年約13万人が大腸がんにかかり、5万人が命を落とされています。

早期には自覚症状がないので「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。検診は毎年定期的に受けることが重要です。

もちろん、血便、腹痛、便の形状や回数が変化したり、などの症状がある場合は医療機関を受診してください。

3月末までに受診を

今年度は堺市のがん検診無料化の最終年度となります。受診がまだの方は3月末までに受診をおすすめいたします。

大腸がん検診はみみはらグループの病院、診療所で受診ができます。詳しくは各事業所の窓口にお問合せください。
(耳原総合病院組織健診科 宅田由平)

役職者対象に学習会も開催

ハラスメントのない働きやすい職場へ

今年6月のパワハラ防止法施行の決定を受けて、セクハラ窓口担



錠付の投書箱

当者会議をハラスメント全体の啓発を行う、ハラスメント窓口担当者会議に改編し、取り組みを強めていこうとしました。

同仁会はお互いが尊重し合い、ハラスメントのない良好な「コミュニケーション」のもとでの働きやすい職場をめざします。

現在、各事業所に投書箱を順次設置しています。投書の際にもメールや電話でも相談は可能です。メールアドレスや電話番号はハラスメントに関する相談・苦情申告用紙に記載しています。気になることがあれば気軽に相談してください。秘密は固く守ります。

理事会報告

12月理事会〈概要〉

開催日時 2019年12月26日(木)
午後6時～7時10分
出席 理事24名 監事3名

〈主な内容〉

- ◆報告
- ・ 拡大常任理事会概要報告、各種委員会報告
- ・ 健康友の会みみはら、社保・平和・まちづくりのとりくみ
- ・ 無料低額診療の各事業所実績
- ・ 11年度の経営結果、協同基金の取り組み
- ・ 出席理事全員がこれを確認した。

た。

◆協議・確認事項

- ・ 幹部交代について
- ・ 齊藤理事長、奥村病院長からの役員交代の提案にもとづき、役員交代の準備に入る。
- ・ 田端副理事長を次期理事長とし、2020年1月1日付で理事長代行に任命、医師業務の交代など準備をすすめる。
- ・ 正式な理事長交代までは、引き続き齊藤現理事長が法令に基づき責任と権限を担う。
- ・ 大阪民医連に2020年3月末までに耳原総合病院の院長選考をすすめるよう要請する。
- ・ 出席理事全員がこれを確認した。



知って得する
いきいき生活

シリーズ⑦